

8 陸上自衛隊美幌駐屯地

(2) 現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
自衛隊美幌駐屯部隊との連携	自衛隊美幌駐屯部隊の存置活動の強化	災害時における美幌駐屯地の協力が不可欠となっている。 このことから、駐屯地の充実整備のため、隊員削減反対行動並びに新たな部隊及び教育訓練施設の誘致に向けた陳情要望を実施し、防災体制の充実を図っている。	平成25年末に「防衛計画の大綱」及び「次期中期防衛力整備計画」が策定され、美幌駐屯地への影響が懸念される。	今後、「防衛計画の大綱」及び「中期防衛力整備計画」に基づき、具体的に整備が進められるが、国防に関する事から、現時点での詳細は明らかになっていない。
	自衛隊美幌駐屯部隊における防災対応と連動した体制の確立	陸上自衛隊美幌駐屯部隊は、美幌町防災会議の構成団体として、本町の防災に関する基本方針及び計画作成に協力いただくとともに、災害発生時には、リエゾン※により職員を町災害対策本部に派遣し、情報収集、連絡調整、災害対応等の連携を図っている。	特になし	町民の生命と財産を守るために、引き続き連携を図っていく。

※リエゾン（仏語で「つなぐ」）：地震・水害・土砂災害等の大規模自然災害の発生時に、地方公共団体へ国土交通省職員を派遣し、災害情報等の情報収集、災害応急対策の支援等を行うもの。

(3) 意見、提案

◎：小学生 ◎：中高生 ◎：育児ママ ▲：自衛隊 ♀：高齢者 ●：町民 ○：職員

- 自衛隊新部隊の招聘。（女性・60代）
- 美幌駐屯地が、北見移転で北見駐屯地になる見込みはあるのですか？時期は？（男性・40代）
- 美幌駐屯地の存置により町の活性化を図る。